

2015年3月期第2四半期 決算説明会



Money Partners Group

株式会社マネーパートナーズグループ



本資料は、株式会社マネーパートナーズグループの事業及び業界動向についての株式会社マネーパートナーズグループによる現在の予定、推定、見込み又は予想に基づいた将来の展望についても言及しています。

これらの将来の展望に関する表明はさまざまなリスクや不確実性がつきまっています。

既に知られたもしくははいまだ知られていないリスク、不確かさその他の要因が、将来の展望に対する表明に含まれる事柄と異なる結果を引き起こさないとも限りません。

株式会社マネーパートナーズグループは将来の展望に対する表明、予想が正しいと約束することはできず、結果は将来の展望と著しく異なるか、さらに悪いこともありえます。

本資料における将来の展望に関する表明は、2014年11月4日現在において利用可能な情報に基づいて、株式会社マネーパートナーズグループにより2014年11月4日現在においてなされたものであり、将来の出来事や状況を反映して将来の展望に関するいかなる表明の記載をも更新し、変更するものではありません。



「Manepa Card」(マネパカード)発行開始！①

Money Partners Group



手数料等のコスト

たとえば、
1,000米ドル分ショッピングした場合 仲値:102.17円 海外利用手数料(1.6%)

一般的なクレジットカード 1,757円 マネパカード 802円

(2014年8月7日現在)



- 手数料等のコストはクレジットカードの**実質半額**！
- 外貨両替と比較してもマネパカードはおトク！
- 円貨から外貨（5通貨）への両替の**タイミングは自由**
- 両替した外貨から直接引き落とせるので**明瞭会計**
- 与信審査がないからクレジットカードより**お手軽**
- **年会費無料**！



「Manepa Card」(マネパカード)発行開始！②

Money Partners Group

◆ 9/3新規事業スタートし実需サービス強化、メディアへの露出によるブランディング効果狙う

メディア掲載による顧客認知

2014年9月マネパカードサービス開始後、新聞やテレビなどのメディアへ広く露出

掲載日	メディア及び「タイトル」
2014年09月01日	日本経済新聞朝刊「マネーパートナーズ、海外旅行者向けプリペイド提供。」
2014年09月02日	共同通信「海外旅行用プリペイド FXのマネーパートナーズ」
2014年09月02日	時事通信「マネーパートナーズ、海外専用プリペイドカード業務に参入へ」
2014年09月02日	テレビ東京「ワールドビジネスサテライト」
2014年09月02日	ペイメントナビ海外専用プリペイドカード「マネパカード」発行
2014年09月03日	マイナビニュース「海外専用プリペイド“マネパカード”海外ATM・MasterCard加盟店で利用」
2014年09月02日	産経ニュース「マネーパートナーズが海外旅行用プリカマスターカードと提携で」
2014年10月05日	日経トレンディー「[得ワザ]」
2014年10月22日	日刊ゲンダイ「我が社の自慢」

カードサービス開始後の状況と戦略的意図

状況

- PR・記事広告他のべ141媒体(10/22現在)
- 申込者数は初月順調な滑り出し
このペースで行けば当初の発行目標を上回る

戦略的意図

- 外貨決済サービス自体の新規収益事業化
当社グループの既存サービスである外貨両替に
おける「出口」の一つを新たに提供することによる
既存サービスとの相乗効果
- 外国為替関連サービス拡充によるブランディング効果

裾野の広い外国為替実需層からの顧客獲得導線を構築



- I .2015年3月期第2四半期の決算及び事業の概況
- II .2015年3月期第2四半期の重点施策の進捗状況
- III .今後の目指すべき方向性
- IV .当社の経営目標及び株主還元について

I .2015年3月期第2四半期の決算及び事業の概況





2015年3月期第2四半期 連結決算の総括とポイント

- ① 口座数はマネパカードの効果等もあり堅調に推移し、約5千口座増と順調に拡大。預り証拠金も口座数の拡大に伴い 前四半期比2.4%増の45,649百万円に。

総口座数	245,880口座	2015/3期1Q末比	2.3%増
預り証拠金	45,649百万円	2015/3期1Q末比	2.4%増

- ② 第2四半期(2014/7-9)の外国為替取引高は、7月・8月の低迷相場から一転、9月の米ドル急騰により米ドル/円の取引高が大きく増加し、前四半期比17.4%増となった。

7-9月取引高	2,349億通貨単位	2014/4-6月比	17.4%増
---------	------------	------------	--------

※取引高には2011年8月より開始したCFDに関する数値を含めております。

- ③ 営業収益は、外国為替取引高増加に伴い1,167百万円(前四半期比20.4%増)、経常利益は182百万円(前四半期比340.6%増)となった。

- ④ 四半期純利益は前四半期比434.3%増の117百万円となった。



2015年3月期第2四半期 決算概況と影響ファクター

Money Partners Group

	2015/3期 1Q 【2014/4 ~ 2014/6】	2015/3期 2Q 【2014/7 ~ 2014/9】	前四半期 対比増減
外国為替取引高	2,001億通貨単位	2,349億通貨単位	17.4%
営業収益	969百万円	1,167百万円	20.4%
経常利益	41百万円	182百万円	340.6%

【第2四半期の損益影響ファクター】

前四半期比

取引高 

収益性 

販管費 

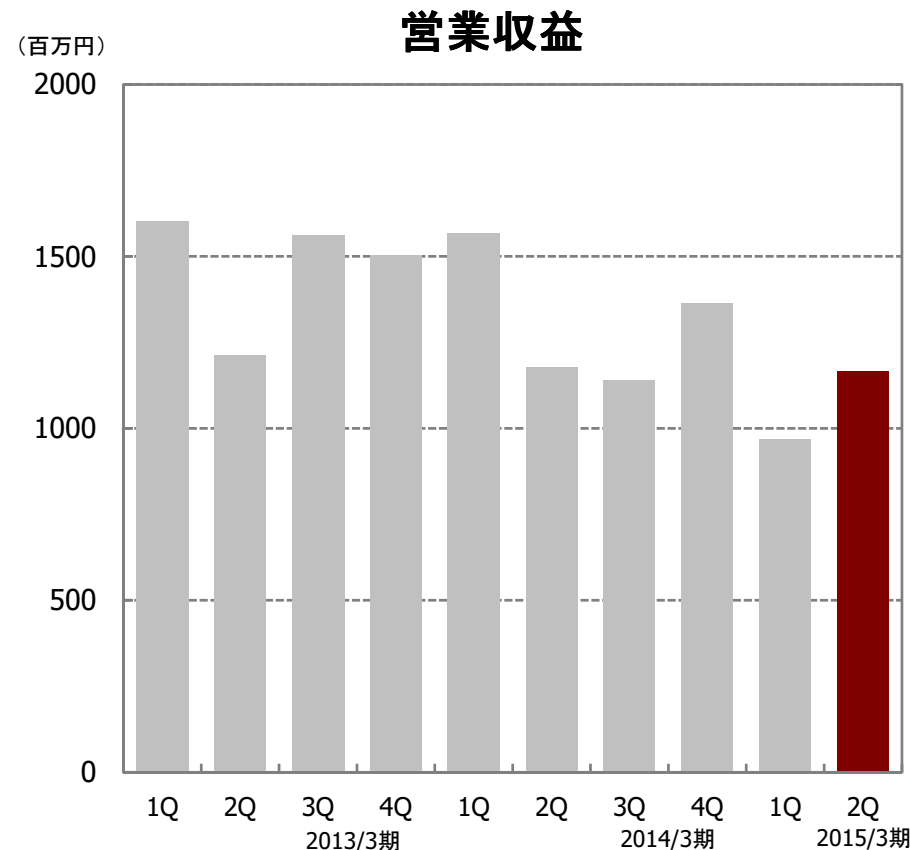
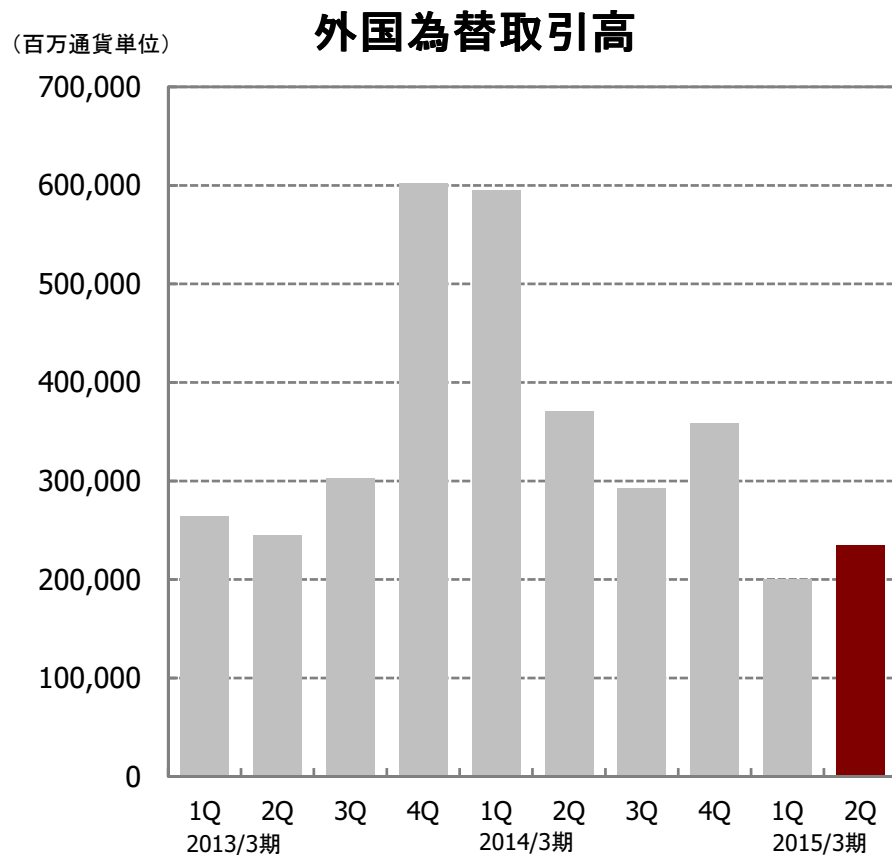
- ・ 取引高は、前四半期以来の歴史的超低変動相場が継続していたところ、9月に入り米ドルが急騰したことから米ドル／円を中心に回復、四半期ベースでも前四半期比大幅に増加。
- ・ 個々の通貨毎の収益性は前四半期から更に改善するも、相対的に収益性の低い米ドル／円の割合が増加したことにより全体としての収益性は前四半期比ほぼ横這い。
- ・ 取引高の増加に伴う変動費の増加等により販管費は前四半期比7.6%増加するも、営業収益の増加額を大きく下回る水準であり大幅増益に。



事業数値の動向

Money Partners Group

■ 外国為替取引高及び営業収益の推移



(単位＝外国為替取引高:百万通貨単位、営業収益:百万円)

	13/3期 1Q	13/3期 2Q	13/3期 3Q	13/3期 4Q	14/3期 1Q	14/3期 2Q	14/3期 3Q	14/3期 4Q	15/3期 1Q	15/3期 2Q
外国為替取引高	264,466	245,265	302,966	602,634	594,850	370,796	292,823	358,329	200,156	234,930
営業収益	1,604	1,213	1,563	1,504	1,569	1,179	1,142	1,365	969	1,167

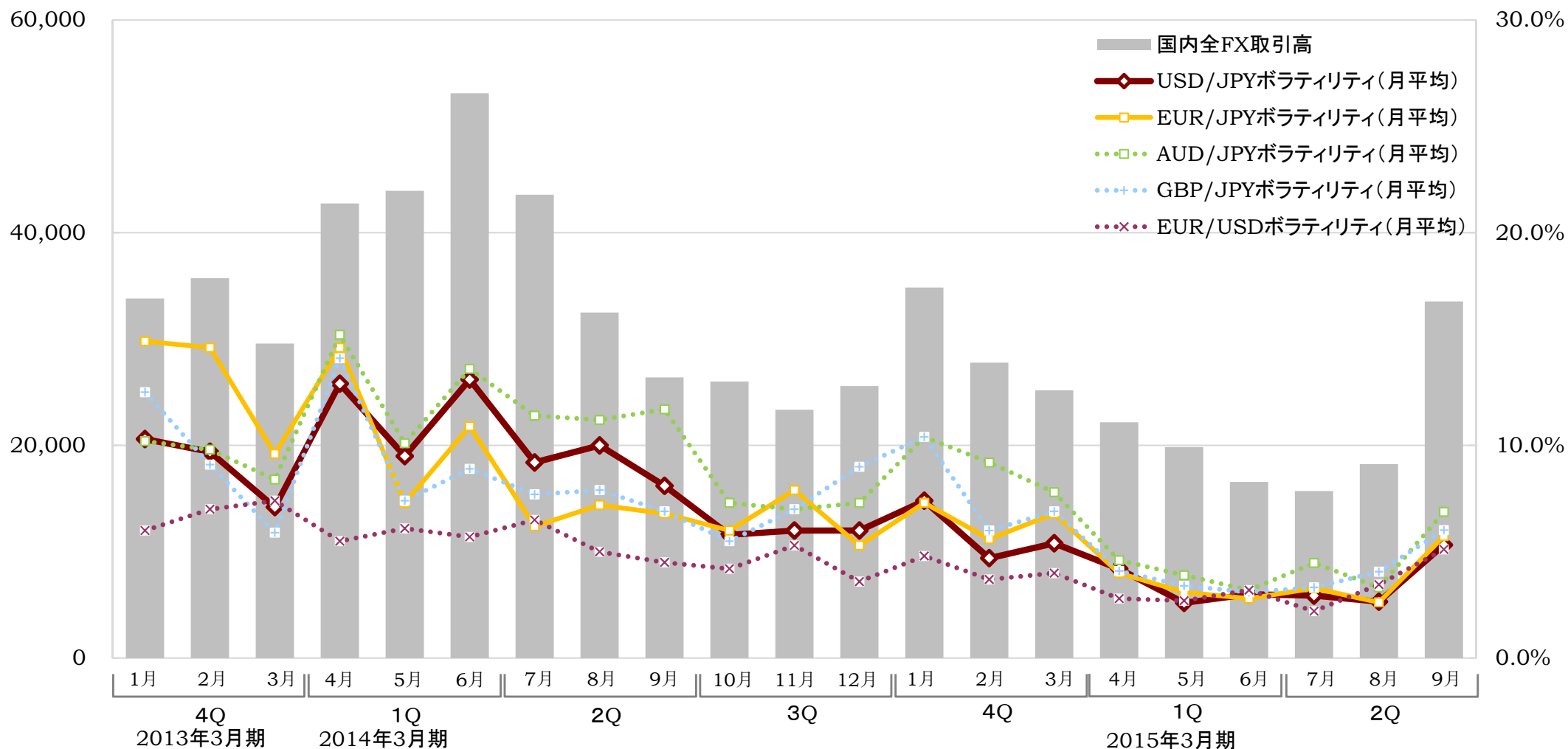
※ 外国為替取引高には2011年8月より開始したCFDに関する数値を含めております。



FX市場の動向

Money Partners Group

取引高・主要通貨ペア日次平均ボラティリティの推移



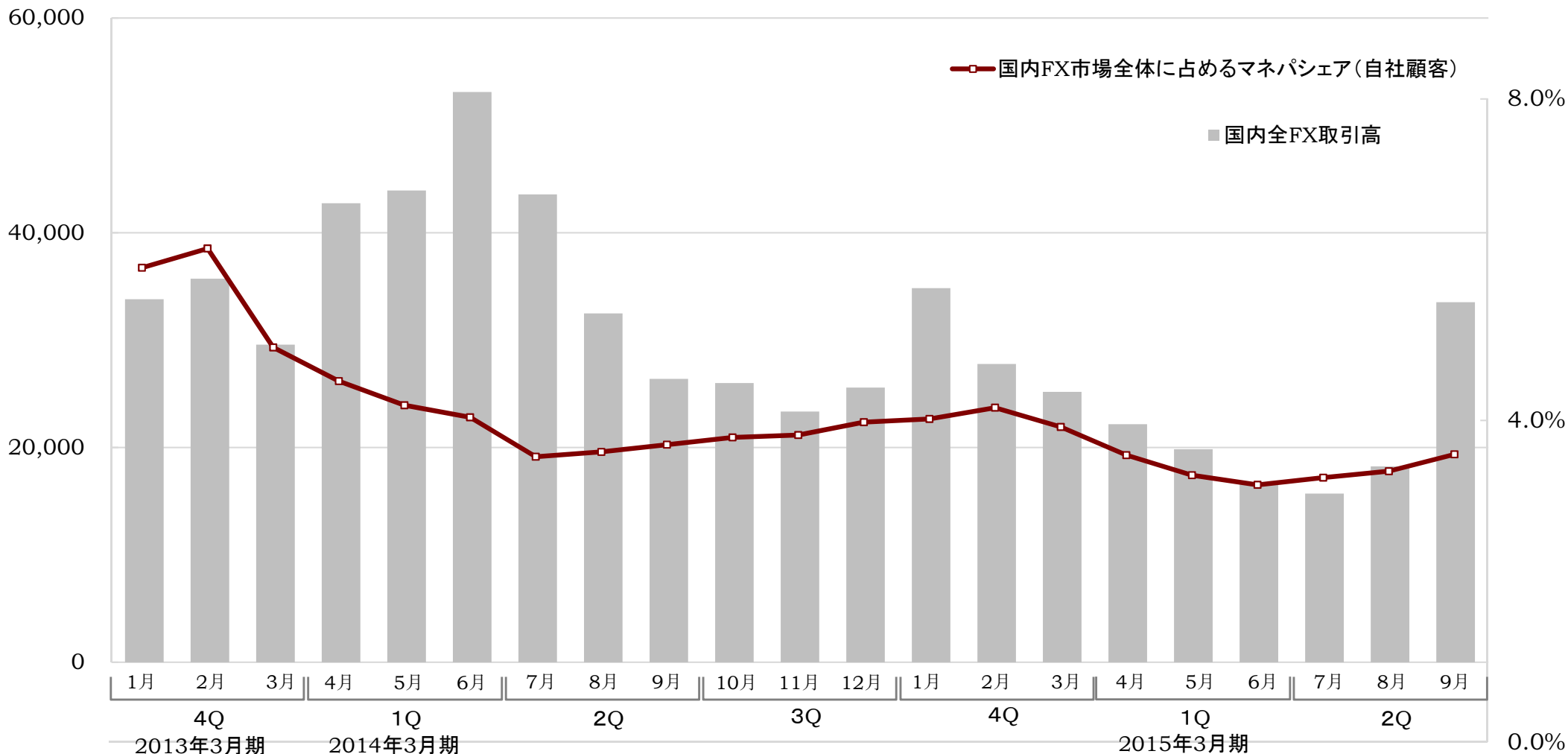
2014年5月以来の歴史的とも言える超低ボラティリティ相場は概ね8月まで継続し、その後米国早期利上げに対する思惑から米ドルが急騰。足元ではボラティリティは回復傾向に。国内全FX取引高は、ボラティリティに連動する形で8月まで低迷の後、9月には2014年1月の水準近くまで回復



FX取引高及び当社シェアの推移

Money Partners Group

国内全FX取引高と当社シェアの推移



2014年5月から8月にかけての超低ボラティリティ相場等を背景にFX業界ではスプレッド競争が一部再燃するも、7~9月の当社グループ取引高シェアは回復傾向に。

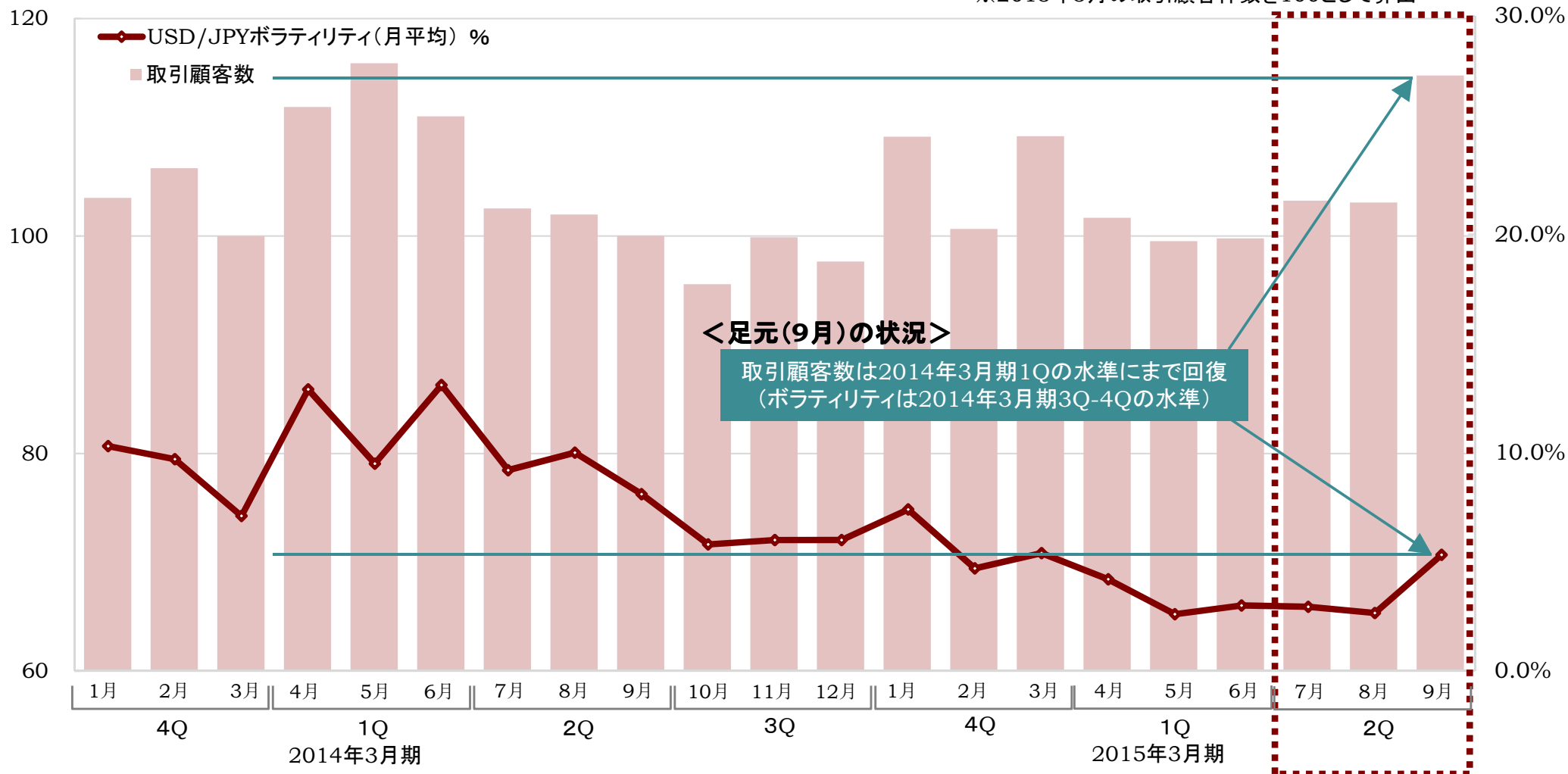


取引顧客数の推移

Money Partners Group

取引顧客数及び米ドル／円ボラティリティの推移

※2013年3月の取引顧客件数を100として算出



＜足元(9月)の状況＞

取引顧客数は2014年3月期1Qの水準にまで回復
(ボラティリティは2014年3月期3Q-4Qの水準)

取引高だけでなく、顧客基盤の拡充のため顧客層の裾野を広げるべくサービス面の改善やブランディングに注力。2014年1月以降、取引顧客数は従来強い相関関係をもっていたボラティリティのトレンドから上方に乖離。足元の取引顧客数は、2014年9月には2014年3月期1Qの水準にまで回復。



四半期業績推移

Money Partners Group

■ 四半期毎のP/L主要数値推移

単位: 百万円

	2013/3期		2014/3期				2015/3期		前四半期 対比増減
	3Q (10月~12月)	4Q (1月~3月)	1Q (4月~6月)	2Q (7月~9月)	3Q (10月~12月)	4Q (1月~3月)	1Q (4月~6月)	2Q (7月~9月)	
営業収益	1,563	1,504	1,569	1,179	1,142	1,365	969	1,167	20.4%
受入手数料	6	17	3	2	2	2	2	2	18.2%
トレーディング損益	1,548	1,473	1,563	1,171	1,136	1,359	963	1,155	19.9%
金融収益	4	3	2	3	3	3	2	3	11.8%
その他の売上高	4	9	0	2	0	0	0	6	1937.9%
金融費用	22	21	16	16	16	17	18	18	△1.7%
売上原価	2	5	0	0	0	0	0	0	0.0%
純営業収益	1,538	1,476	1,552	1,163	1,125	1,347	950	1,149	20.9%
販売費・一般管理費	1,338	1,260	1,112	973	964	1,039	912	981	7.6%
営業利益	199	216	440	189	161	307	38	167	336.7%
経常利益	200	224	427	197	162	328	41	182	340.6%
税金等調整前四半期純利益	198	202	412	194	157	327	41	178	329.5%
四半期純利益	122	124	247	119	96	200	21	117	434.3%
営業収益経常利益率	12.8%	14.9%	27.2%	16.7%	14.3%	24.1%	4.3%	15.6%	

営業収益は、外国為替取引高が増加したことで前四半期比20.4%増加。販売費・一般管理費は前四半期比7.6%増加したものの、経常利益は前四半期比340.6%増と大幅に増加し、2014年3月期2Q~3Q並みの水準にまで回復。



四半期販管費推移

Money Partners Group

■ 販管費内訳及び主要費目の推移

単位:百万円

	2013/3期		2014/3期				2015/3期		前四半期 対比増減
	3Q (10月~12月)	4Q (1月~3月)	1Q (4月~6月)	2Q (7月~9月)	3Q (10月~12月)	4Q (1月~3月)	1Q (4月~6月)	2Q (7月~9月)	
取引関係費	439	400	259	224	240	293	214	249	16.3%
人件費	235	244	257	234	231	242	225	233	3.5%
不動産関係費	218	216	154	153	146	154	154	161	4.8%
事務費	280	233	283	226	224	226	189	213	12.3%
減価償却費	141	143	122	111	99	98	94	94	△0.2%
租税公課	10	12	15	13	13	15	15	18	15.0%
貸倒引当金繰入れ	—	—	—	—	—	0	—	—	—
その他	12	9	19	10	8	8	17	10	△38.2%
販売費・一般管理費合計	1,338	1,260	1,112	973	964	1,039	912	981	7.6%

(主要な費目)

広告宣伝費(※1)	58	72	79	83	112	158	91	113	23.7%
システム関連費用(※2)	408	362	349	285	268	290	247	285	15.1%

※1 取引関係費の一部となります。 ※2 取引関係費、不動産関係費、事務費の一部となります。

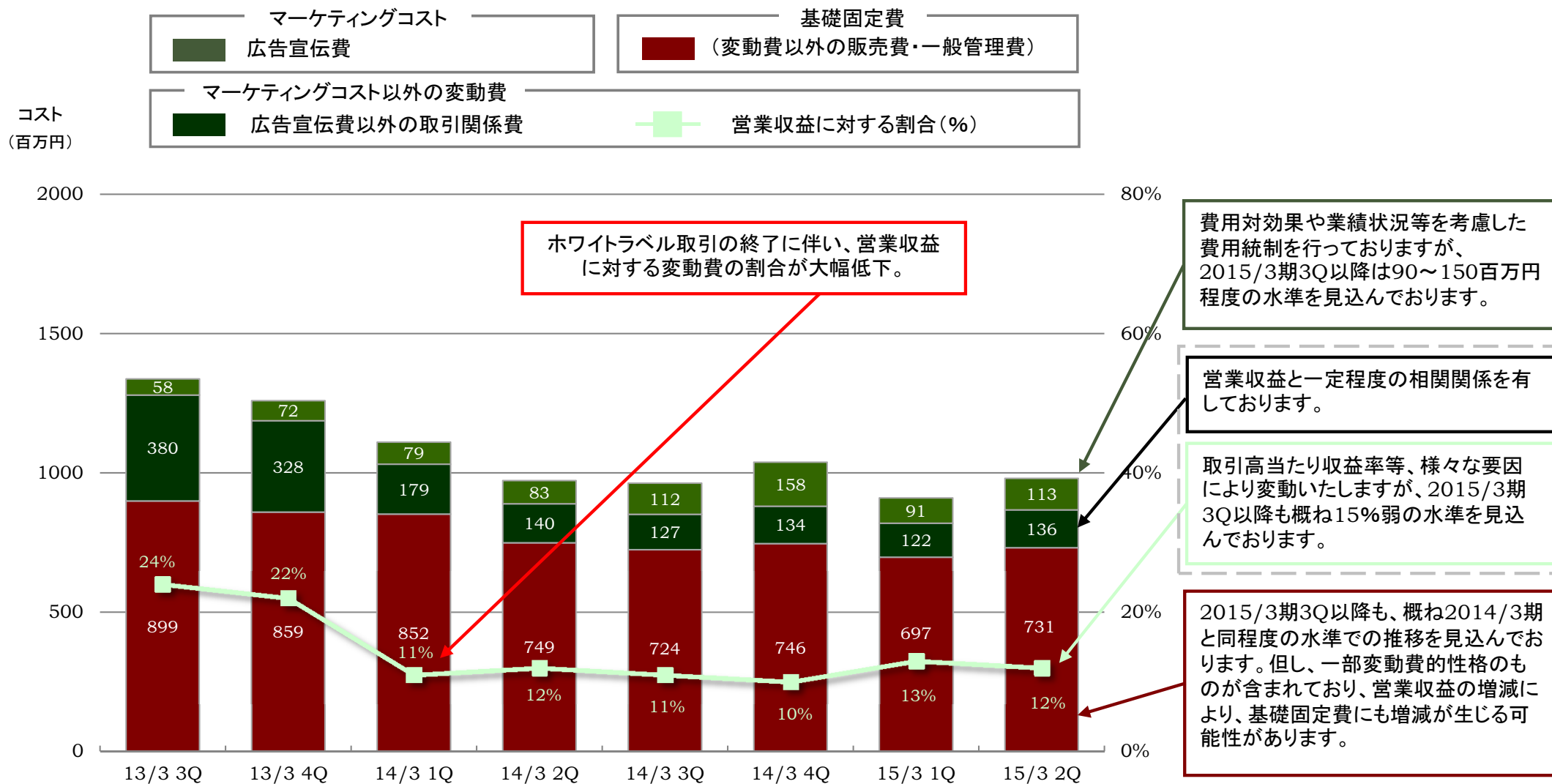
外国為替取引高の増加に伴い、変動費である取引関係費が前四半期比16.3%増加。事務費の増加(前四半期比12.3%増)は、変動費部分の増加とマネパカードのサービス開始に伴う固定費の増加が要因であるものの、金額自体は2014/3期4Qを下回る水準。



四半期固定費・変動費推移と今後の動向

Money Partners Group

■ 主要な固定費・変動費の推移

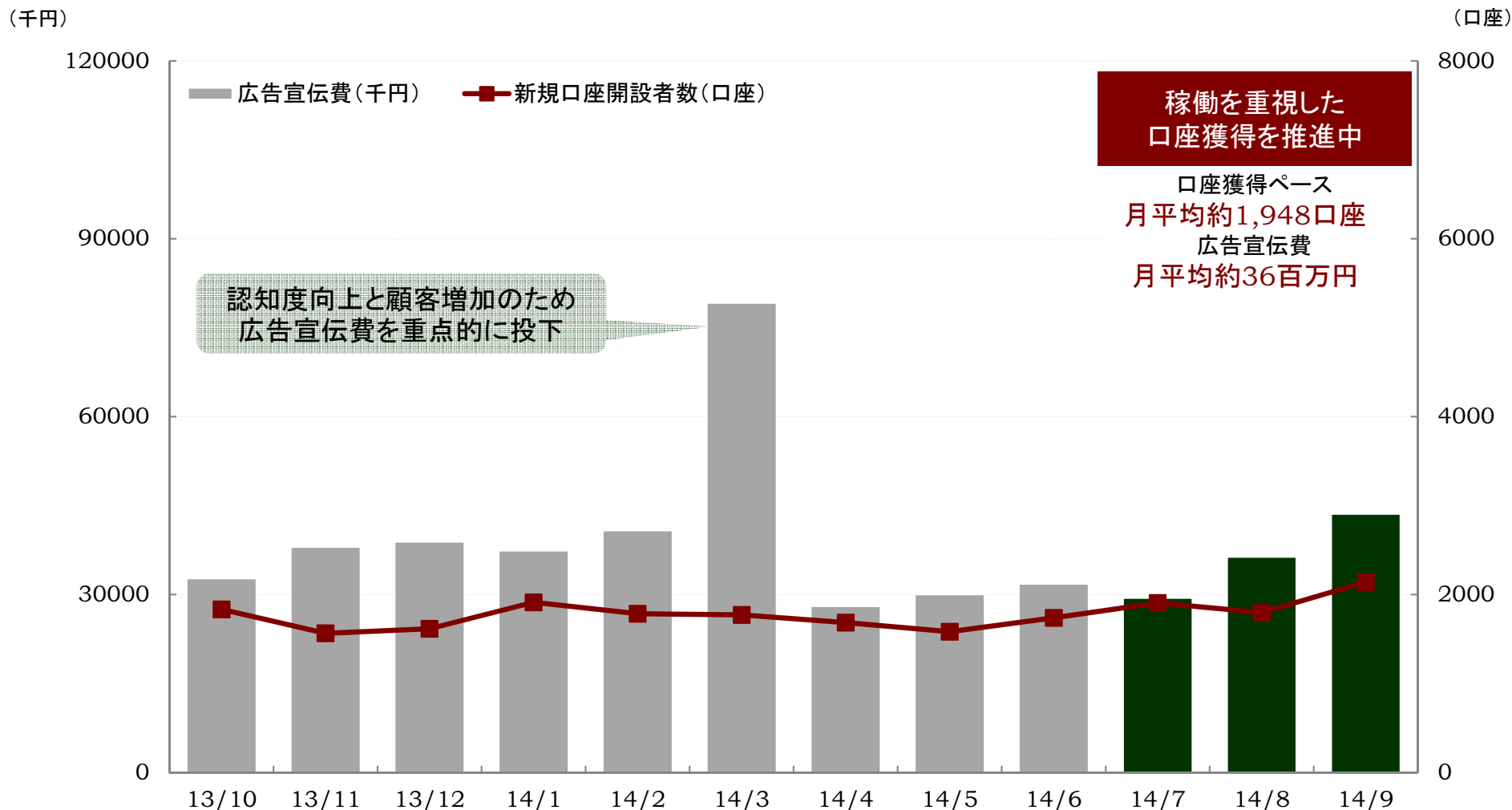




月次広告宣伝費の推移

Money Partners Group

■ 広告宣伝費及び新規口座開設者数の推移



マネパカードのサービス開始に伴うブランディング活動等により費用は増加傾向にあるものの、これらの露出効果等もあり新規口座開設者数も相応の水準を確保。



月次業績指標推移

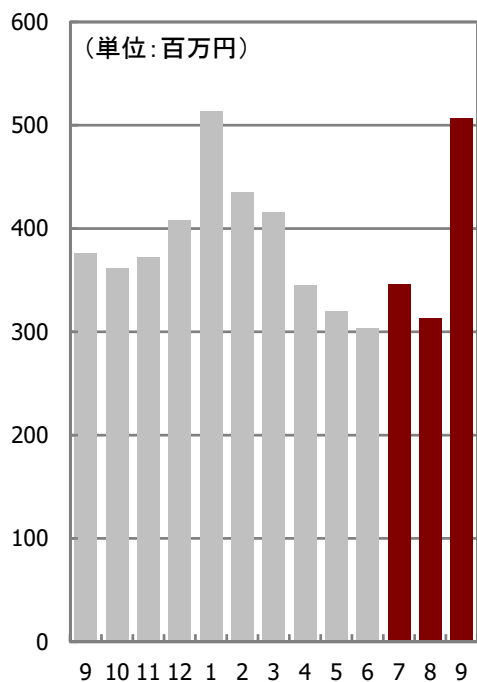
Money Partners Group

■ 月次営業収益、外国為替取引高、顧客口座数、顧客預り証拠金の推移

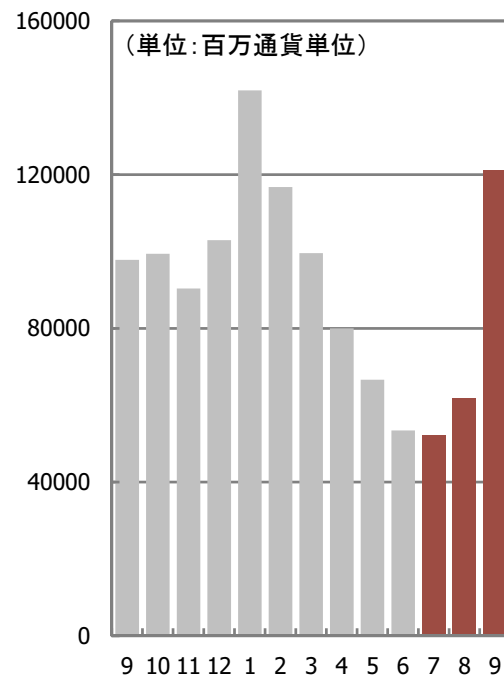
	2013年				2014年								
	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
営業収益(百万円)	376	361	372	408	513	435	416	345	320	303	346	313	507
外国為替取引高 (百万通貨単位)	97,846	99,448	90,408	102,966	141,934	116,780	99,614	80,006	66,673	53,476	52,025	61,788	121,116
顧客口座数(口座)	225,986	227,731	229,204	230,717	232,518	234,192	235,807	237,340	238,815	240,435	242,160	243,854	245,880
顧客預り証拠金(百万円)	43,229	43,755	44,179	43,797	44,144	44,250	44,348	44,177	44,098	44,561	45,128	45,214	45,649

※営業収益、取引高は、ホワイトラベル提供及び大証FXマーケットメイク業務に伴い発生した収益・取引を含んでおります。顧客預り証拠金は、ホワイトラベル提供に伴う預り証拠金を含んでおります。それぞれの計数には2011年8月より開始したCFDに関する数値を含めております。

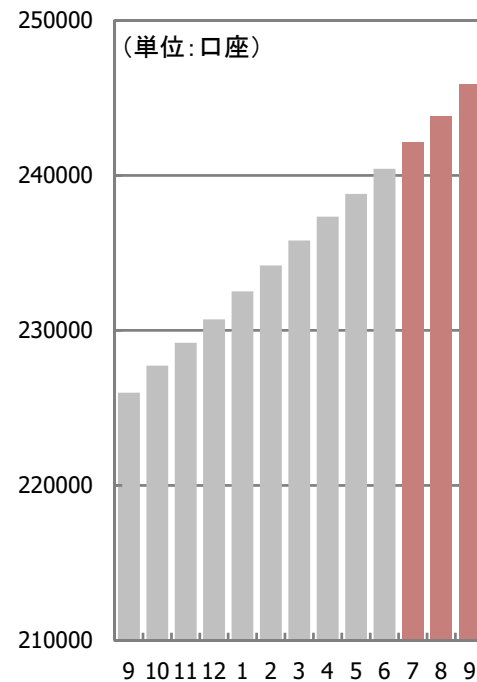
■ 営業収益



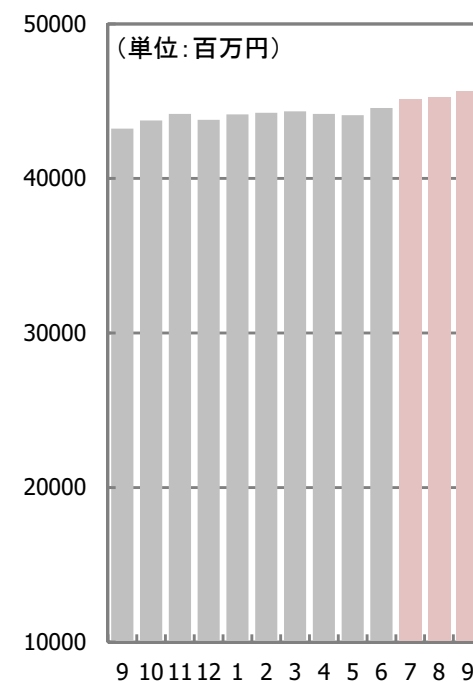
■ 外国為替取引高



■ 顧客口座数



■ 顧客預り証拠金



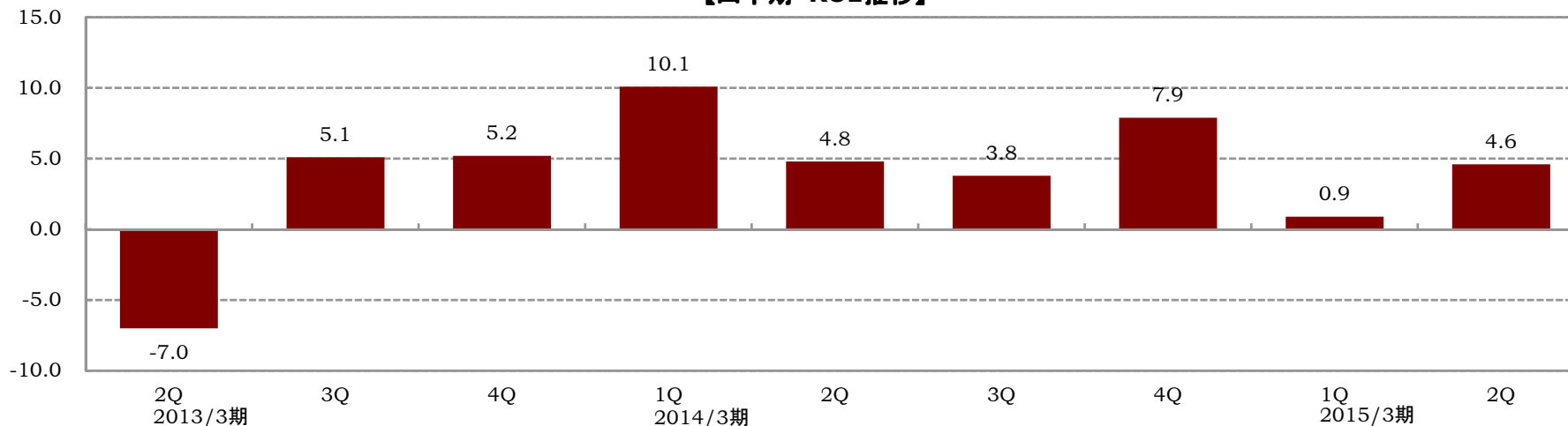


主要経営指標推移

Money Partners Group

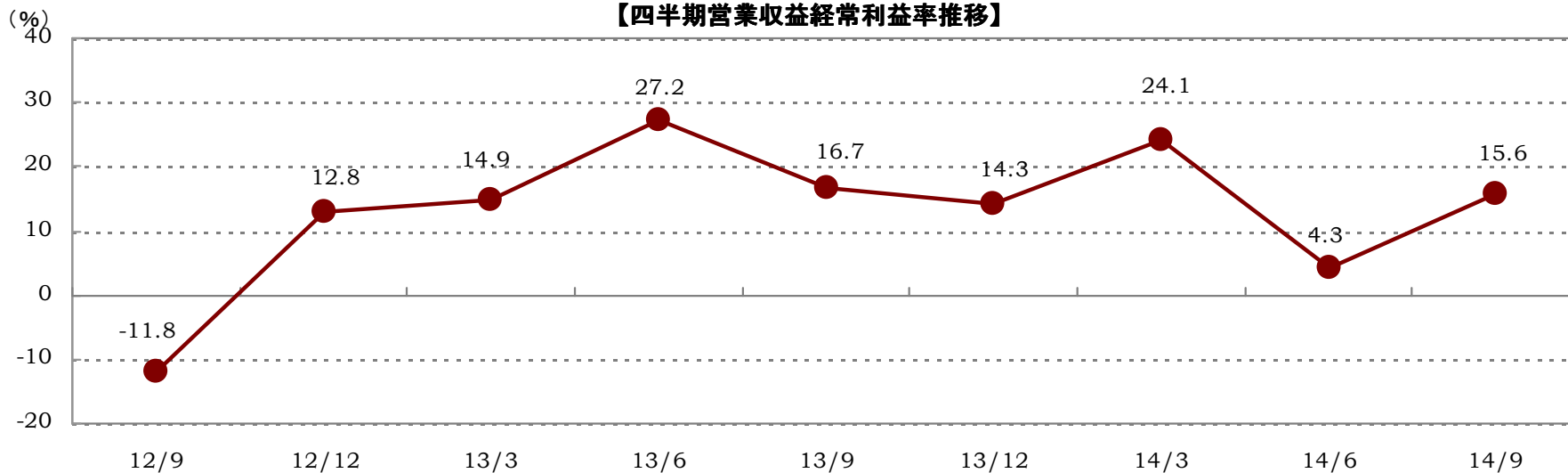
ROE及び営業収益経常利益率推移

【四半期 ROE推移】



※: 四半期ROEにつきましては、下記計算式により年換算して算出しております。
 $ROE(年換算) = (四半期純利益 \times 4) \div ((四半期期首自己資本 + 四半期期末自己資本) \div 2) \times 100$

【四半期営業収益経常利益率推移】



Ⅱ.2015年3月期第2四半期の重点施策の進捗状況





2015年3月期の重点施策

Money Partners Group

重点課題

収益力強化

顧客基盤拡大
取引機会創出

重点施策

- 実需層の取り込みによる顧客基盤の拡大と収益化
- 顧客基盤の多様化と収益率の更なる向上



実需

顧客サービス

収益

- ★ ブランディング及び実需顧客等の取り込み
- ★ カード及び外貨両替サービス利用者層の取り込み

- ★ 顧客向けサービスの改善
- ★ 新注文・新サービス・新機能の提供

- ★ 収益性継続の改善



重点施策の進捗状況①

Money Partners Group

ブランディング強化とマス戦略展開による顧客獲得

スポーツスポンサー契約

「SUPER GT300」JLOC公式スポンサーとしてのレース参戦による認知度向上への取り組み



マネパランボルギーニ スーパーGT初優勝！

7/20スポーツランドSUGO(宮城県)で行われましたスーパーGT第4戦において、マネパランボルギーニ88号車が優勝

- ◆ 新たなジャンルからの顧客獲得を図って積極的にブランディング活動を展開。

空港での顧客認知

2Q利用者数対前年同四半期比
約1.35倍！



- ◆ 裾野の広い外国為替取引初心者層・実需層からの顧客獲得導線を構築
- ◆ ドル、ユーロ、ポンド、スイスフラン、韓国ウォンの5通貨取扱

外貨紙幣の取扱い

- ◆ 新たな提携先との取り組み(10/31東京商工会議所にて講演)
- ◆ ブランディング強化のため精力的に展開中。





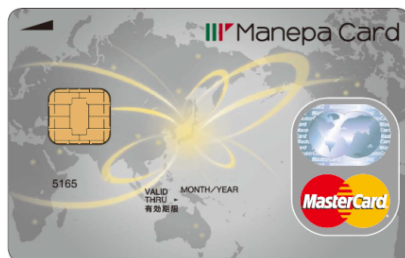
重点施策の進捗状況②

Money Partners Group

ブランディング強化とマス戦略展開による顧客獲得

カード

Manepa Card



クレジットカードよりも手数料がお得！
海外専用プリペイドカード
プリペイドカードで初！ICチップ付きで不正利用防止

マネパカードのカンタン便利な 2ステップ



1 5つの通貨が1枚のカードで使える！
為替レートを確認して、おトクに外貨をチャージ！

2 旅行先で現地の通貨を使う！
ATMで現地通貨を引き出したり、
マスターカードのお店で使う！



Manepa Card

9月 商品説明会とカード申込み受付開始！

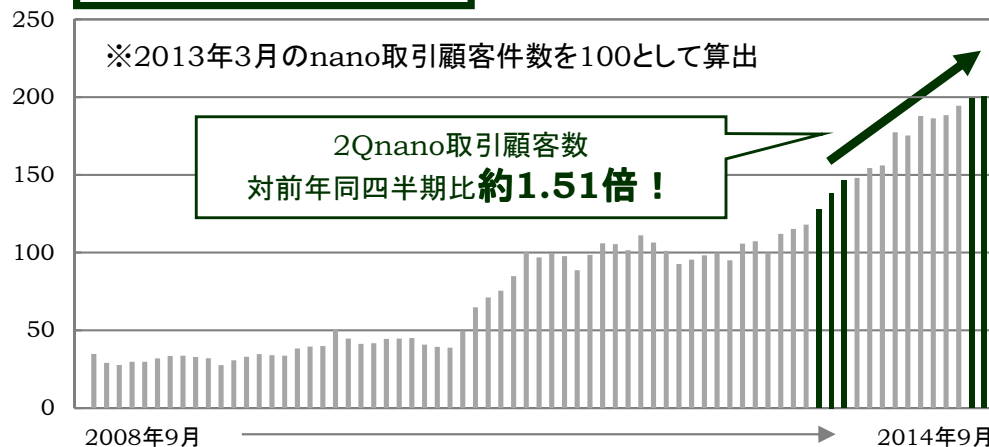
ビギナー向け施策

- ・スプレッドの更なるナロー化
- ・スワップ最高水準
- ・取引ツールとの連動

米ドル / 円 **0.3** 銭 ※例外あり

初心者に最適の nano
少額取引 & 業界最狭水準スプレッド

nano取引顧客数推移



FX取引の増強策として一般化路線の定着を図るため、
nanoの施策を展開

CFD

9/8より取扱銘柄追加！



Ⅲ. 今後の目指すべき方向性





中長期的な経営戦略 ～独自ポジションの構築

Money Partners Group



FXを軸とした外国為替・資産運用の専門店を目指す！

IV. 当社の経営目標及び株主還元について





ROE及び営業収益経常利益率の向上

- 当社は、企業価値の最大化のため自己資本を効率的に活用することを重視しております。
- このために効率的な収益構造の実現を目指して参ります。
- 効率性を計る尺度として、自己資本利益率(ROE)及び営業収益経常利益率を重要な経営指標として位置づけております。

▶ **2015年3月期第2四半期(2014年7~9月)のROEは4.6%**

※: 四半期ROEにつきましては、下記計算式により年換算して算出しております。
$$\text{ROE(年換算)} = (\text{四半期純利益} \times 4) \div ((\text{四半期期首自己資本} + \text{四半期期末自己資本}) \div 2) \times 100$$

▶ **2015年3月期第2四半期(2014年7~9月)の営業収益経常利益率は15.6%**



株主還元について

Money Partners Group

業績向上に取り組み、株主利益の向上に努める

配当方針

配当性向 … 連結当期純利益の30%を目処

配当機会 … 中間及び期末(年2回)

		2014年3月期				2015年3月期			
		1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
当期純利益 累計期間(百万円)		247	366	463	663	21	139		
配当金の総額 (百万円)		90		120		45			
期末発行済 株式総数(株)		322,110 (内、自己株式20,023)		32,223,000 ※1、2 (内、自己株式2,002,300)		32,241,000 (内、自己株式2,002,300)			
1株当たり 配当金	中間・期末	300円		4円		1.5円			
	年間	7円 ※3				-			

※1 2013年10月1日付で普通株式1株につき100株の株式分割を行っております。

※2 2013年3月期末の発行済株式数であります。

※3 2013年3月期の期首に株式分割が行われたものと仮定して、1株当たりの配当金額を算出しております。



取扱い商品に係るリスク及び手数料等について

パートナーズFX、パートナーズFXnanoおよびCFD-Metalsは、取引時の価格またはスワップポイントの変動、およびスワップポイントは支払いとなる場合があることにより、売付時の清算金額が買付時の清算金額を下回る可能性があるため、損失が生じるおそれがあります。また、証拠金の額以上の投資が可能のため、その損失の額が証拠金の額を上回るおそれがあります。売付価格と買付価格とには差額(スプレッド)があります。

取引手数料は無料です。ただしパートナーズFXについては、受渡取引に限り、1通貨単位あたり最大0.40円の手数料をいただきます。

パートナーズFXおよびパートナーズFXnanoの取引に必要な証拠金は、取引の額の4%以上の額で、証拠金の約25倍までの取引が可能です。法人コースの場合は、取引の額の0.5%以上の額で、証拠金の約200倍までの取引が可能です。

CFD-Metalsの取引に必要な証拠金は、取引の額の5%以上の額で、証拠金の約20倍までの取引が可能です。国内上場有価証券の売買等に当たっては、最大で約定代金の2.7%の手数料(消費税込み)、最低手数料は取引形態等により異なり最大で2,700円(消費税込み)をいただきます。国内上場有価証券等は、株式相場、金利水準、為替相場、不動産相場、商品相場等の価格の変動等および有価証券の発行者等の信用状況(財務・経営状況を含む)の悪化等それらに関する外部評価の変化等を直接の原因として損失が生ずるおそれ(元本欠損リスク)があります。

取引開始にあたっては契約締結前書面を熟読、ご理解いただいた上で、ご自身の判断にてお願い致します。

〈商号〉株式会社マネーパートナーズ(金融商品取引業者・商品先物取引業者)

〈金融商品取引業の登録番号〉関東財務局長(金商)第2028号

〈加入協会〉日本証券業協会 一般社団法人金融先物取引業協会 日本商品先物取引協会

2015年3月期第2四半期 決算説明会



Money Partners Group

株式会社マネーパートナーズグループ